

子どものときの強烈な痛みの記憶は、耳鼻科で受けたBスポット療法です。母の膝の上に座っている自分が動かないように看護師さんたちが押さえつけて、医師が茶色の液がついた太い綿棒で私の上咽頭をグリグリするのです。いつも涙を流しながら受けていたのを覚えています。特集テーマをみて、幼いときのあの光景が蘇ってきました。

予防接種、手術、がん治療時の痛み対策は、大人になってからの医療との向き合い方にも大きくかわかる大事なことです。薬物療法も大事ですが、日頃からの本人や保護者との信頼関係構築が痛み対策にも大きくかかわっているということです。医療者としての総合力が問われますね。また、慢性の痛みに関しても、急性の痛み以上に総合力が問われる問題かもしれません。全身の病気や整形外科の病気の可能性を常に考えながらも、痛みが続いていることで生じる様々な不利益を多職種で手当てをする視点を学ぶことができました。

ところで、子どものときの自分は、Bスポット療法が大嫌いで、今でもフランクフルトをみるとあの茶色の太い綿棒を思い出します。でも、逃げ出さずに健気に受けていました。これをするとう扁桃炎が翌日には治っていたからです。もちろんこのときはプレパレーションとかディストラクションなど何もされず、ひたすら痛みに耐えていました。ただ、このときの経験が、子どもの痛みに関心をもち、注射の痛みを和らげる「ぶにゅ蔵くん®」開発に発展したのかもしれません。

(岡藤郁夫)

▶▶▶ NEXT ISSUE ————— 2024.11 Vol.27 No.11

特集 子育て支援に活かそう！ アタッチメント

(企画：宮本信也)

- 1) アタッチメントとは何か？ 何をもち得るか？……………遠藤利彦
- 2) アタッチメントの世代間連鎖……………久保田まり
- 3) アタッチメントの評価……………金政祐司
- 4) アタッチメントを阻害する要因
～気になる親子の背景の理解のために～……………山下 洋
- 5) 妊娠期から考えるアタッチメント……………本島優子
- 6) アタッチメントの視点からの子育て支援……………北川 恵
- 7) アタッチメントの障害～保育所・幼稚園での気づきと対応～……………青木 豊
- 8) アタッチメントの障害～小学校・中学校での気づきと対応～……………米澤好史
- 9) 社会的養護とアタッチメント……………谷向みつえ
- 10) アタッチメントの障害と発達障害……………山崎知克、山崎晃子、岩崎美奈子
- 11) 非行とアタッチメント……………工藤晋平

*場合によってタイトル・内容に変更が生じることもあります。ご了承ください。

チャイルドヘルスの創刊趣旨

少子化の時代となり、子どもを健全に育成することは、ますます重要となりました。そのためには医療の充実も必要ですが、基本となる育児、保健が強化されなければなりません。本誌はこの意図に沿って、人生の基礎となる乳児、幼児、小学生を対象として、育児、保健を科学的、実践的に扱うことを目標としています。

編集委員 (五十音順)

石崎優子 伊藤健太 岡藤郁夫 坂本昌彦

編集顧問 (五十音順)

秋山千枝子	石崎朝世	植松紀子	内海裕美
太田文夫	加藤則子	川上一恵	北川道弘
榊原洋一	佐藤紀子	佐山圭子	渋谷紀子
鈴木葉子	砂川富正	瀧本秀美	田原卓浩
多屋馨子	成相昭吉	成田雅美	萩原温久
原田正平	広瀬宏之	堀川美和子	堀向健太
前川喜平	松浦信夫	村田光範	湯汲英史
横内裕佳子			

協力者 (五十音順)

磯谷文明	太田百合子	佐々木 洋	鈴木みゆき
たけながかずこ	田中総一郎	田中康雄	
堤 ちはる	中板育美	中川信子	服部益治
馬場直子	帆足英一	堀口寿広	益子まり
三浦義孝	峯 真人	三宅 健	安井良則
山中龍宏	山本一哉		

チャイルドヘルス

Vol.27 No.10 2024年10月号
2024年10月1日発行

定価 1,870円 (本体 1,700円+税 10%)

編集兼発行者

藤美正太

編集担当

西川弘美 島田つかさ 寺町多恵子 土橋幸代

発行所

(株) 診断と治療社
〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-14-2
山王グランドビル 4 階
TEL 03-3580-2770 (営業)、03-3580-2750 (編集)
FAX 03-3580-2776
<https://www.shindan.co.jp/>
eigyobu@shindan.co.jp (営業)、
hen@shindan.co.jp (編集)

※正誤表・更新情報につきましては、当社 HP をご覧ください。

印刷所 三報社印刷株式会社

© 2024 Printed in Japan

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権 (送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物の利用に関する原著者の権利は株式会社診断と治療社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、その都度事前に出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail:info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

本誌を無断で複製 (複写・スキャン・デジタルデータ化を含みます) する行為は、著作権法上での限られた例外 (「私的使用のための複製」など) を除き禁じられています。大学・病院・企業などにおいて内部的に業務上使用する目的で上記行為を行うことも、私的使用には該当せず違法です。また、私的使用のためであっても、代行業者等の第三者に依頼して上記行為を行うことは違法です。

・「チャイルドヘルス」は、株式会社診断と治療社の登録商標です。